

事務事業名	創作どうわ絵本全国公募実施事業				☐ マニフェスト関連		☐ 全庁横断課題関連		
政策名	総合計画 04	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	教育委員会		所属課	生涯学習課
施策名	計画 21	生涯学習の推進			所属係	図書館班		課長名	野本 立一
基本事業名	体系 77	学習・スポーツの啓発			担当者名	末永 舞		電話番号 (内線)	096-242-5555
予算科目	会計 01	款 10	項 05	目 08	事業	法令根拠	図書館法・合志市立図書館設置条例・図書館の自由に関する宣言		
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 ☐ 期間限定複数年度→全体計画の投入量を記入 ↳ (開始年度 17 年度 ~) ↳ (年度 ~ 年度)								
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						全体計画(期間限定複数年度のみ) (単位:千円)			
(事業の内容) 西合志館にて実施。通常6月上旬から10月下旬まで作品を全国公募し、審査する。 (業務の内容) 実施要綱を作成し、全国公募の周知をする。入賞作品をはじめとする応募作品は11月実施の「図書館まつり」(西合志館)にて展示する。展示後、図書館の資料として登録し、利用者への読み聞かせや貸出に使用する。 の内訳) 報酬、報償費、需用費(消耗品)						総 計 入 量	事業 費 内 訳	国庫支出金	
								都道府県支出金	
								地方債	
								その他	
								一般財源	
事業費計 (A)								0	
正規職員従事人数									
延べ業務時間									
人件費計 (B)								0	
トータルコスト(A)+(B)								0	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)

18年度実績(18年度に行った主な活動)

・全国から応募があり、入賞者を決定後館内展示をした。展示後、図書館資料として整備・登録をし、希望者には貸し出しをした。

19年度計画(19年度に計画している主な活動)

・ジュニアの部を続けるか残すかを検討する。他は18年度と同じ。

② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等

・作品募集は全国民。
・貸出対象は図書館利用者。

③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)

・図書館利用の活用促進をPRするとともに、物語を創る喜び、読む喜びを知ってもらう。

④ 結果(どんな結果に結び付けるのか)

・学習やスポーツに取り組むことの必要性を認識できる。施設や学習内容を知ることができる。

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない

名称	単位
ア 作品応募数	点
イ	
ウ	

⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない

名称	単位
ア 人口	人
イ 図書館利用登録者数	人
ウ	

⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない

名称	単位
ア 作品応募数	点
イ	
ウ	

⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない

名称	単位
ア 学習やスポーツに取り組んでいないが今後取り組んで見たいと思う市民の割合	
イ	
ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移

				単位	16年度 (実績)	17年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (見込)	20年度 (目標)	21年度 (目標)	22 年度 (最終目標)
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円							
			都道府県支出金	千円							
			地方債	千円							
			その他	千円							
			一般財源	千円			86	80	80	80	80
			事業費計 (A)	千円	0	0	86	80	80	80	80
	人件費	正規職員従事人数	人			5	5	5	5	5	
		延べ業務時間	時間			50	50	50	50	50	
		人件費計 (B)	千円	0	0	199	199	199	199	199	
		トータルコスト(A)+(B)	千円	0	0	285	279	279	279	279	
活動指標		ア	点			32	50	50	50	50	
		イ									
対象指標		ア	人			127,730,000	127,750,000	127,750,000	127,750,000	127,750,000	
		イ	人			39,083	39,100	39,100	39,100	39,100	
成果指標		ア	点			32	50	50	50	50	
		イ									
上位成果指標		ア									
		イ									

事務事業名	創作どうわ絵本全国公募実施事業	所属部	教育委員会	所属課	生涯学習課
-------	-----------------	-----	-------	-----	-------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	・平成8年度から「四季の星紙芝居」の全国公募を実施。天文台の利用促進として行っていたが、応募数の減少に伴い、別案として企画した。平成16年度に開催した「手づくり絵本」講座をきっかけに図書館利用促進として平成17年度より開始。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	・全国から様々な応募があるが、合志市内からの応募が少ない。 ・一般の部とジュニア(中学生以下)の部を設けているが、ジュニアの部の応募が少ないため、今後どうするか検討する必要がある。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	・受賞作品以外も、貸出できるものは貸出用に装備してほしい。 ・貸し出し用に登録された絵本をひとつのコーナーを設置して置いてほしい。 ・合志図書館でも作品の展示をしてほしい。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由】 ・図書館利用の活用促進をPRするとともに、物語を創る喜び、読む喜びを知ってもらうという意図は学習やスポーツに取り組むことの必要性を認識できるという結果に結びつく。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由】 ・図書館の自由に関する宣言より図書館は資料を収集し提供するとあるため、妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	☒ 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 適切である ⇒【理由】 ・募集作品を一般の部とジュニアの部に分ける必要があるか、今一度検討する余地がある。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】 ・これまでの応募作品を集め、特設コーナーを設け、事業のPRを図る。 ・図書館のホームページ等で受賞作品の掲載をし、応募を促す。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	☐ 影響無 ⇒【理由】 ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 ⇒【その内容】 ・図書館PRの手段が減り、物語を創作するという機会を利用者は失うこととなる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ・物語を創作する事業は他にはない。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 ・全国公募のコンクールとしては、低い賞金となっている。これ以上の削減はできない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 ・必要最低限の時間数で業務をしているため、削減の余地はない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 ・貸出は図書館利用者全体に行い、応募作品は図書館の財産になるため、公平である。

合志市

事務事業名	創作どうわ絵本全国公募実施事業	所属部	教育委員会	所属課	生涯学習課
-------	-----------------	-----	-------	-----	-------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 ① 目的妥当性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり ② 有効性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 目的妥当性としては・・・募集作品を一般の部とジュニアの部に分ける必要があるか、今一度検討する余地がある。 有効性としては・・・これまでの応募作品を集め、特設コーナーを設け、事業のPRを図る、図書館のホームページ等で受賞作品の掲載をし、応募を促すという余地がある。																						
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☒ 事業のやり方改善(有効性改善) ☐ 事業のやり方改善(効率性改善) ☐ 事業のやり方改善(公平性改善) ☐ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) ・ジュニアの部を残すかどうか検討する。 合志館での展示の検討。 これまでの応募作品で貸出可能なものでコーナーを設置する。		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上		○																				
	維持			×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 ・																							

4 事務事業の2次評価結果

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 ① 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) ☐ 記述不足でわかりにくい ☐ 一部記述不足のところがある ☐ 記述は十分なされている ② 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) ☐ 一部に客観性を欠いたところがある ☐ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ① 目的妥当性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり	(3) 評価結果の根拠と理由																						
(4) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☐ 事業のやり方改善(有効性改善) ☐ 事業のやり方改善(効率性改善) ☐ 事業のやり方改善(公平性改善) ☐ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)		(5) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持			×																			
	低下		×	×																			
(6) その他2次評価会議で指摘された事項																							